

あなたのひと声が、 明るい社会を築きます

7月は「愛のひと声かけ運動強調月間」です。

子どもたちの“心の叫び”を、行動や態度から感じて、大人から子どもたちに声をかけることが大切です。子どもは、大人のあたたかいまなざしや言葉を待っています。さあ勇気を出して、子どもたちに向かって一歩前へ進みましょう。大人が変われば、きっと子どもも変わります。

青少年育成市民会議
(中央公民館内)
25-4141

活動1 「良いことは、自分から進んで行く」

子どもは、親の背を見て育つといいです。地域の子供たちは、地域の大人の姿を見て育ちます。子どもたちの見本になれるような行動を。タバコのポイ捨て、空き缶の投げ捨てなどは厳禁ですよ。



愛のひと声かけ運動展開中の補導員のみなさん

活動2 「子どもたちに積極的に声をかける」

身近な子どもたちに「おはよう」「こんにちは」と積極的に声をかけましょう。もし、子どもたちの良い行いを見たときは、ほめてあげてください。また、未成年者の喫煙など悪い行いを見たときには、勇気を出して声をかけてください。

活動3 「子どもたちの悩みを一緒に考えてあげる」

子どもたちが困っているとき、苦しんでいるときこそ、気軽な相談相手・よき理解者になってあげて。子どもたちのふと見せる沈んだ顔、寂しそうな表情を見逃さず、「どうしたの」とやさしく声をかけてください。

活動4 「子どもの心を育てる体験活動を」

自然とのふれあい、友だちとのびのび遊ぶことは、健やかな心と体を育むためには欠かせない体験です。休日には、子どもたちと一緒に自然の中へ出かけよう。

活動5 「子どもたちを非行・犯罪から守る」

子どもたちの非行を招く原因の一つに有害環境があります。有害環境とは、著しく性的感情を助長する図書やビデオを販売する自動販売機など。そこで、こうした自動販売機を設置する業者に土地を貸さないように。

市民会議では、「愛のひと声かけ運動」を進めます。一人でも多くの方が、このまちの子どもたちに声をかけられるように。「笑顔」と「あいさつ」のあふれるまちを目指して、地域のきずな・大人と子どものきずなを強くしたいと考えています。

「愛のひと声かけ運動」の主な活動

1, 市民会議出前講座「ほっとトーク」(市民会議)

子どもと大人の心をつなぐホットラインをつくらう～みんなで話そう、今、子どものために大人は何ができるのか～をテーマに、子どもたちに声をかけることの大切さと青少年問題について話し合う小集会です。出前を希望する団体は、市民会議事務局へ。

2, ソシアルアングル・ソシアルアント会員募集中！(市民会議)

子どもたちに声をかけてくれる「地域のおじさん・おばさん」の輪を広げようと、ソシアルアングル・ソシアルアント会員を募集中。会員になられた人には、会員証を送付します。詳しくは、市民会議事務局へ。

3, 愛のひと声かけ活動(市少年センター)

市少年センターでは、補導活動を「愛のひと声かけ活動」とし、積極的に子どもたちに声をかけています。毎週金・土曜日を中心に補導活動を実施中。声をかけた少年には「愛のひと声ふれあいカード」を渡しています。

Future

21世紀のまちづくり

広聴

市長と21世紀を語ろう

「第21回「日系外国人との共生」」

日本のくらしについて

市長 美濃加茂市に住まれた感想は

もう10年になります、子どもが小さいとき、保育園に預けることができてたいへん助かった。

来日して、まだ、3カ月しかたつていないが、治安が良いのに驚いた。

来日して、1年6カ月。住みやすいので、子ども呼び寄せたい。

来日して11年で、美濃加茂市に住んで2年です。地域の子ども会に入ったら、みなさん親切で、仲良くしていただいで助かりました。

来日して7年。以前は新潟県に住んでいました。ここは、気候も温暖で新潟より住みやすいです。

来日して11年、ここに住んで1年5カ月です。地域の人は、みなさん親切ですね。



市長 美濃加茂市での生活の中で感じたことはなんですか。

ごみのことで、気づいたことがあります。私たちはペットボトル入りのジュースをよく飲みます。飲んだ後のペットボトルの回収が一月に一度しかありません。回収の回数を増やしてほしい。

子どもたちは、保育園に入っていて、とても楽しそうです。

広聴 市長と21世紀 を語ろう

テーマは「がんばっています。子育て」です。

みなさんの応募をお待ちします。

とき 7月25日(水)
午前10時から
ところ サンサンルーム
(総合福祉会館)
定員 10人程度(先着順)
申込み 7月19日(木)までに
企画政策課広報係へ
直接または電話で

総合政策課 内 241

外国人登録に関する手続きを代理人方式にはできないか。

地域の人も親切ですが、市全体の人の交流がないのが残念です。昨年は、交流サツカー大会がありました。交流サツカー大会がある機会を作ってほしいです。

ペットボトルなどの回収について、夜勤などもあり、回収時間を少し長くできないか。

子どもが小さいとき、保育園に、預けることができているのはその子が、日本語しか話せないことです。

来日して日が浅いせいか、子どもが保育園での食事になじめないようです。時間をかけて慣れさせたいです。でも、教育は優れていると思います。子どもは、日本の教育を受けさせたいです。

市長 市では、みなさんとの共生をこれからも進めたいと思っています。広報のポルトガル語版も現在準備している。

日本になじもうと思っても、日本語が分からない。日本語教室を公的にできないか。

ポルトガル語版のお知らせができるのはありがたい。特に、子どもに関する情報やごみなど生活に密着した情報を知りたい。

今までは、市役所へ書類を出しに行つたときでも、言葉が分からないため戸惑つていたが、言葉が分かる人がいてくれるとありがたい。

私たちは、生活や文化の違いから戸惑うところも多い。われわれも、わざとやっていることではないから、気がついてから、みなさんから、ぜひ声をかけてほしい。